



2020年4月28日

各 位

会社名 日本ガイシ株式会社
(登記社名 日本碍子株式会社)
代表者名 代表取締役社長 大島 卓
(コード番号 5333 東証・名証各第1部)
問合せ先責任者 執行役員 財務部長 神藤 英明
(TEL 052-872-7230)

通期業績予想(連結)の修正及び
減損損失、関係会社株式評価損等(特別損失)の計上に関するお知らせ

当社は、2020年4月15日に公表いたしました通り、2020年3月期決算の確定に今しばらく時間を要することから、決算発表日を5月18日に予定しております。しかしながら、現時点までに把握できた情報に基づき、2019年10月31日に公表しました2020年3月期通期業績予想(連結)を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。特に、新型コロナウイルス感染拡大等で減少している自動車販売台数の回復に関しましては、決算時点で明確な前提を置き難いことから、未償却の固定資産残高の多い一部の海外拠点において保守主義の原則に基づき減損処理を行うことといたしました。この結果、固定資産の減損損失(連結)及び関係会社株式評価損(個別)等の特別損失を反映した業績予想は下記(2.「2020年3月期通期 連結業績予想の修正について」)の通りとします。なお、2020年3月期の決算短信の公表については、2020年5月18日を予定しております。

記

1. 減損損失(連結)及び関係会社株式評価損(個別)等の計上について

当社は、アジア新興国や中国の排ガス規制強化に伴う自動車排ガス浄化用触媒担体の中長期的な需要増に対応すべく、2015年にタイにNGK Ceramics(Thailand) Co., Ltd.を設立し、増産投資を進めてまいりました。しかしながら、中国トラック向け排ガス規制(国 VI)の適用が遅れているほか、足元では新型コロナウイルスの感染拡大の影響により世界的に自動車の生産・販売台数が減少していることから、同社の生産物量が期待を下回って推移しております。当社は、排ガス規制の強化によって当事業の成長を見込んでおりますが、新型コロナウイルスの影響の収束には一定の時間を要するとみており同社において約100億円の減損損失を計上する予定です。また、減損損失の計上に伴い同社の純資産価額が毀損することから、個別損益計算書においては、関係会社株式評価損及び貸倒引当金の繰入等、計約170億円を計上する見込みですが、この関係会社株式評価損等の個別損益計算書で計上する特別損失につきましては、連結決算において消去されるため、連結損益計算書における影響はありません。

2. 2020年3月期通期 連結業績予想の修正について

2020年3月期通期 連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	450,000	60,000	60,000	42,000	131.28
今回修正予想(B)	442,000	55,000	52,000	27,000	84.31
増減額(B-A)	△8,000	△5,000	△8,000	△15,000	-
増減率(%)	△1.8%	△8.3%	△13.3%	△35.7%	-
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	463,504	64,705	64,410	35,506	110.35

3. 修正の理由

売上高は、セラミックス事業において、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により期末にかけて世界の自動車生産・販売台数が減少し、自動車排ガス浄化用触媒担体(ハニセラム)を中心に生産・出荷が想定を下回ったこと、エレクトロニクス事業において、中国携帯基地局の投資が停滞しセラミックパッケージの需要が低調に推移したこと等により、前回発表予想を下回る見通しです。

利益につきましては、主として売上高の減少により営業利益、経常利益が前回予想を下回る見通しであるほか、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、減損損失を計上する予定であることから前回予想を大幅に下回る見通しです。

期末配当予想(1株当たり25円)については前回予想を据え置いております。

なお、連結業績予想の前提となる期中平均為替レートは1米ドル=109円、1ユーロ=121円としております。業績予想につきましては、現時点で得られた情報にもとづいて算定しておりますが、不確定な要素を含んでおり、実際の業績は業績予想と乖離する可能性があります。

以 上

(参考資料)

2020年4月28日
日本ガイシ株式会社

連結 セグメント情報
(セグメント間売上消去後)

(単位:億円)

	2019年3月期 実績
合計	
売上高	4,635
営業利益	647
営業利益率	14%

2020年3月期	
前回予想	今回予想
4,500	4,420
600	550
13%	12%

電力関連事業 ※

売上高	498
営業利益	△ 85
営業利益率	-

440	430
△ 55	△ 50
-	-

※2020年4月1日付にてエネルギーインフラ事業に改称しております。

セラミックス事業

売上高	2,514
営業利益	559
営業利益率	22%

2,580	2,520
580	535
22%	21%

エレクトロニクス事業

売上高	588
営業利益	△ 3
営業利益率	-

560	550
10	0
2%	-

プロセステクノロジー事業

売上高	1,034
営業利益	176
営業利益率	17%

920	920
65	65
7%	7%

以上